

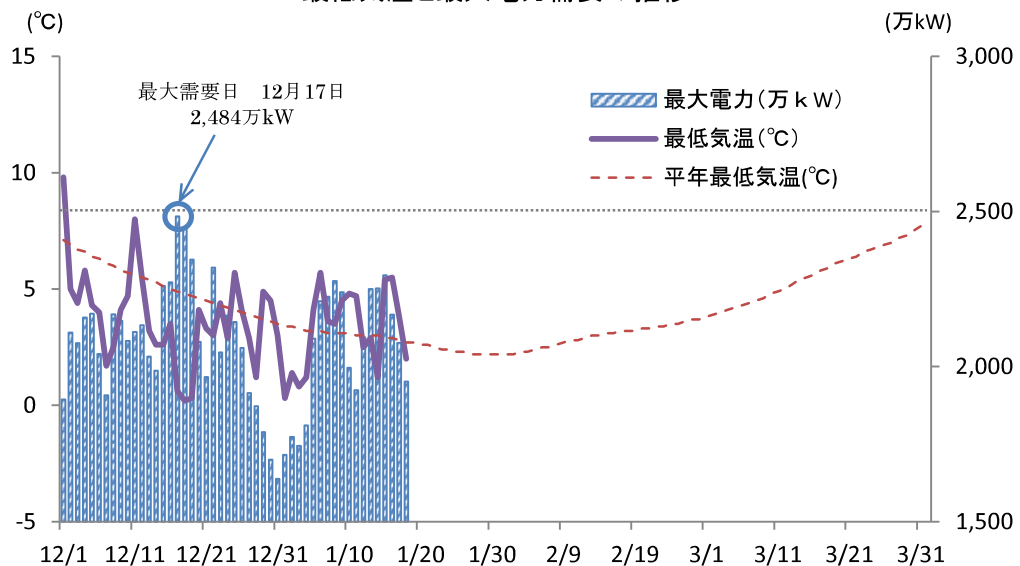
今冬の電力需給状況について

平成 27 年 1 月 22 日

関西広域連合

- 関西電力のデータによると、節電要請期間中（平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 1 月 15 日）における最大需要は、12 月 17 日 17 時台の 2,484 万 kW で、これに対する同日の供給力は 2,622 万 kW、使用率は 94% であった。
- 電力需給見通しの検証の際には、ピーク時の需要 2,535 万 kW に対し、供給力 2,612 万 kW（予備率 3%）を見込んでおり、これまでのところ需給は安定して推移している。

最低気温と最大電力需要の推移



- これまでの節電の状況を、日々のピーク時刻（18時～19時）の需要と気温の関係から解析すると、平成 22 年度冬と比べて平均で約 7%（約 170 万 kW）減少している。

安定した電力需給が維持できるよう、引き続き、府県民や事業者の皆様に節電の着実な実施を呼びかけていく。

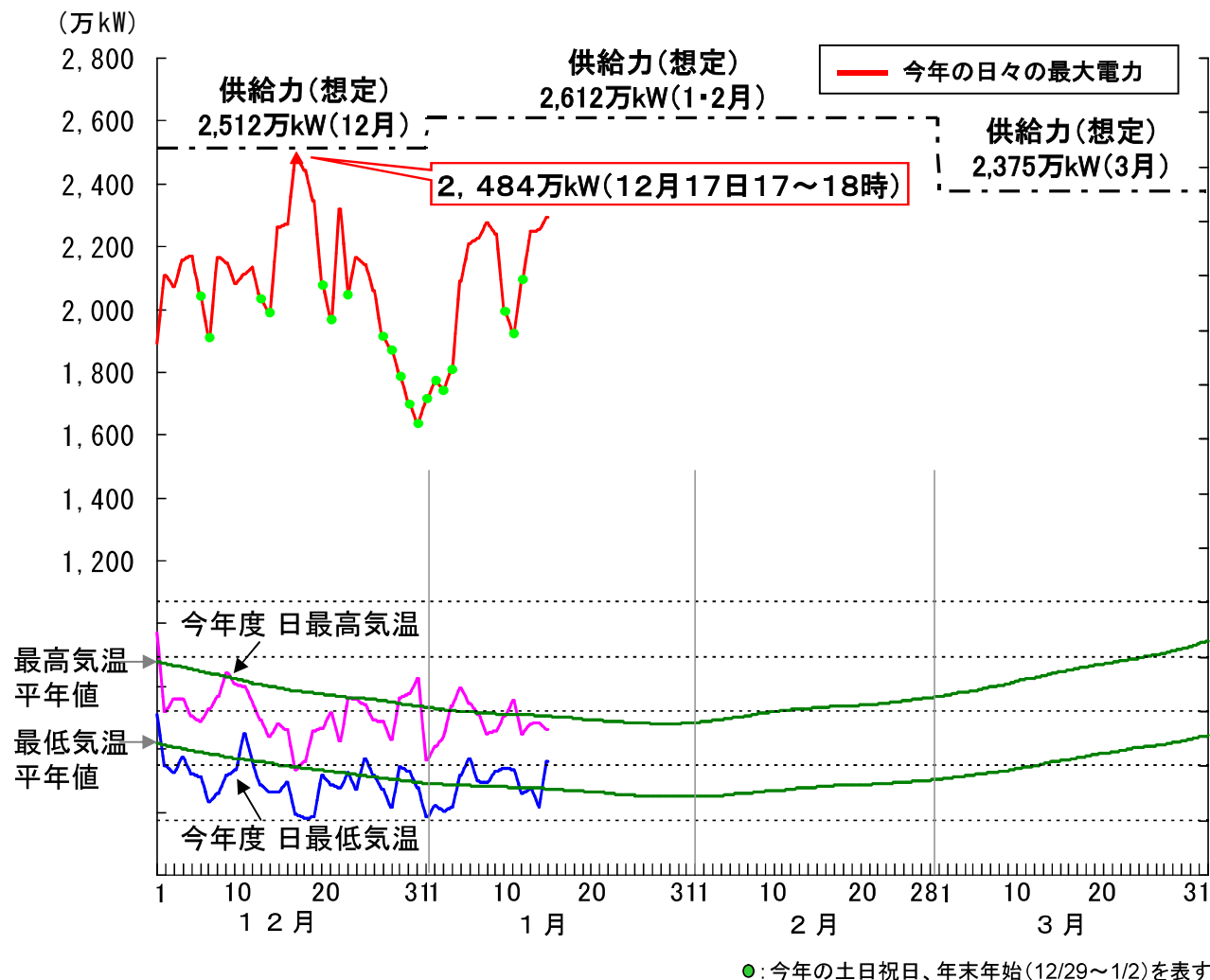
《参考》

今冬の節電要請内容：昨冬同様の節電の着実な実施（平成 22 年度冬比 7% 減）

今冬の最大電力および気温の推移

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年1月22日

1



◎気温（大阪）※1 （℃）

H26年12月		平年差
平均	6.8	▲1.8
最高	10.1	▲2.2
最低	3.8	▲1.3

H27年1月上旬※2		平年差
平均	5.7	▲0.7
最高	8.9	▲1.1
最低	3.0	▲0.1

H27年1月中旬※3		平年差
平均	6.0	▲0.2
最高	9.2	▲0.6
最低	2.8	+0.3

◎冬日（最低気温0℃未満） （日）

12月	1月上旬※2	1月中旬※3	計
0	0	0	0

※1 気温は全て期間の平均値

※2 1/1～1/10の値

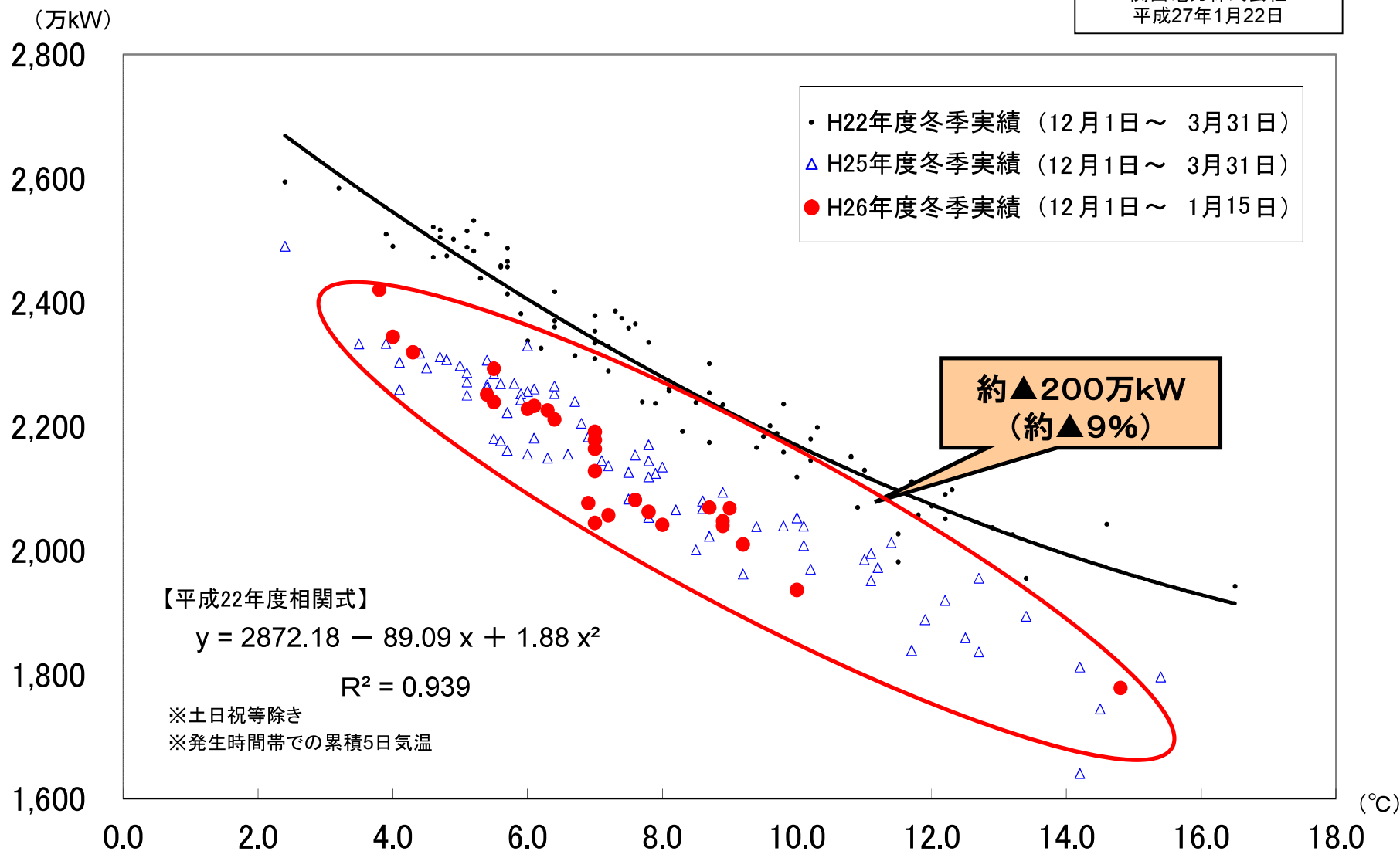
※3 1/11～1/15の値

○今冬のこれまでの最大電力発生日は12月17日（水）17～18時の2,484万kWです。

9～10時の電力需要実績の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年1月22日

2

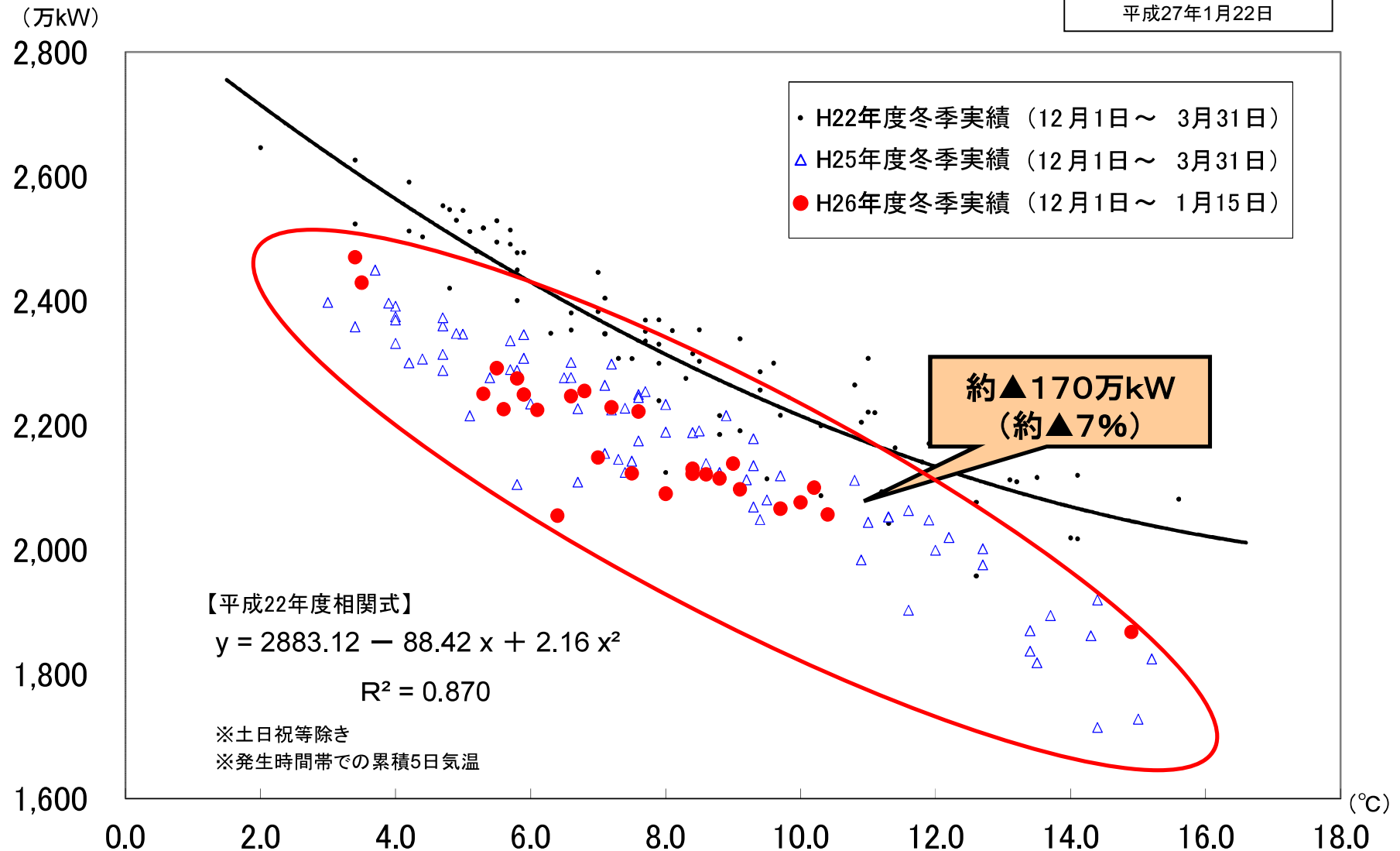


○12／1から1／15までの実績では、H22年度と比べて、平均で約200万kW(約9%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

18～19時の電力需要実績の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年1月22日

3



○12／1から1／15までの実績では、H22年度と比べて、平均で約170万kW（約7%）減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

平成25年冬と今冬の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年1月22日

		H26年度 冬(今冬) [算定期間:12/1～1/15]		H25年度 冬 [算定期間:12/1～3/31]	
		減少量 上段:9時～10時 下段:18時～19時	減少率 上段:9時～10時 下段:18時～19時	減少量 上段:9時～10時 下段:18時～19時	減少率 上段:9時～10時 下段:18時～19時
節電効果(全体)		約200万kW	約 9 %	約180万kW	約 8 %
		約170万kW	約 7 %	約160万kW	約 7 %
(内訳)	家庭用	約 30万kW	約 5 %	約 35万kW	約 6 %
		約 40万kW	約 5 %	約 50万kW	約 6 %
	業務用	約 65万kW	約 8 %	約 60万kW	約 7 %
		約 60万kW	約 7 %	約 65万kW	約 8 %
	産業用	約105万kW	約 11 %	約 85万kW	約 9 %
		約 70万kW	約 9 %	約 45万kW	約 6 %